



祈を込めて(安城市)

第10回あいちの農業・農村フォトコンテスト  
水土里のフォト大賞作品

### 目次

新年を迎えて	会長 神谷金衛	2
新春を迎えて	愛知県知事 大村秀章	3
ごあいさつ	愛知県農林水産部農林基盤担当局長 溝田大助	4
第2回理事会		5
叙勲		5
3.11東日本大震災復興支援 水土里の集い		
第34回全国土地改良大会 inみやぎ		6
重点要請活動を実施		8
農政情報		10
<input type="checkbox"/> 農業農村整備対策予算		
<input type="checkbox"/> 農業農村整備事業(公共)		
<input type="checkbox"/> 農地・水保安全管理支払交付金		
<input type="checkbox"/> 戦略作物拡大・防災保全整備事業		
<input type="checkbox"/> 小水力等農村地域資源利活用緊急促進事業		
「土地改良における再生可能エネルギーの活用」説明会 開催		13
研修会		14
<input type="checkbox"/> 水土里ネット事業視察研修会		
<input type="checkbox"/> 農業用排水機県営移管期成同盟会視察研修会		
<input type="checkbox"/> 適正化事業加入団体現地研修会・排水機管理担当者現地視察研修会		

“「水土里ネット」ってなんだろう？”開催	15
第10回フォトコンテスト入賞入選作品	16
「ふるさとのおんぼと水」子ども絵画展2011入賞入選作品	16
会員情報	17
<input type="checkbox"/> 活動情報	
● 水土里ネット南陽、水土里ネット愛知用水、 水土里ネット明治用水、水土里ネット牟呂用水、 水土里ネット鍋田	
事業情報	20
<input type="checkbox"/> 水土里情報システム	
<input type="checkbox"/> 水土総合強化推進事業	
お知らせ	23
<input type="checkbox"/> 農林水産省の組織再編	
<input type="checkbox"/> 平成23年度水土里ネット役員研修会開催	
<input type="checkbox"/> 水土里ネット愛知ホームページリニューアル	
迎春	24



みどり  
水土里ネット愛知

新農村創造

発行所/愛知県土地改良事業団体連合会  
名古屋市西区栄生一丁目18番25号  
電話(052)551-3611(代)



## 新年を迎えて

水土里ネット愛知会長 神谷 金衛

年頭のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方には、新年を迎え益々ご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素は、本会の運営並びに農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り深く感謝いたします。

はじめに、昨年3月11日に東日本を襲いました大震災により尊い命を失われました多くの方々に衷心より深く哀悼の意を捧げますとともに、被災されました多くの皆様には、心よりお見舞いを申し上げ、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、我が国の農政における最も大きな課題として、平成22年3月に閣議決定された新たな「食料・農業・農村基本計画」で示された2020年までの食料自給率50%の達成があります。そのためには、国民への食料供給と国土・環境保全の基盤である「農地」を守り、地域農業の「担い手」を確保していかなければなりません。

食料自給率の向上と農業の再生においては、農地の効率的な活用がその前提となります。限りある農地の有効活用は、その整備・維持が不可欠であり、土地改良事業は、安定した農業用水と生産性の高い優良農地を確保するうえで、極めて重要であるにもかかわらず、今年度の農業農村整備予算は2,129億円で、10年

前に比べると8割も減っております。その一方で、農業白書によると毎年500カ所を超える農業水利施設が耐用年数を迎え、農業基盤への投資を怠れば、将来に大きな禍根を残すこととなります。

野田首相は所信表明演説で「農業は国の本なりとの発想は、今も生きています。」「食は、いのちをつなぎ、いのちを育みます。消費者から高い水準の安全・安心を求められるからこそ、農林漁業は、新たな時代を担う成長産業となりえます。」と表明されました。日本の豊かな国土や自然環境は、農業・農村が健全であって初めて維持されるものであり、過疎化、高齢化、担い手不足等の問題を解決するためにも、農業予算の増額は必須です。

農業、特に土地改良事業を取り巻く環境は大変厳しく、改善の兆しが見えていませんが、こうした多難な時期にこそ、食と地域の再生に向けて、農業農村整備事業を積極的に推進することが必要であり、我々の責務であると思います。今後も鋭意、会員の皆様方のご意見を反映しつつ、役職員が一体となって、業務運営に一層の努力をして参りたいと考えておりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、土地改良事業の限りなき発展と皆様の益々の御繁栄を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 新春を迎えて



愛知県知事 大村 秀章

あけましておめでとうございます。

去年は、東日本大震災という未曾有の国難や超円高による産業空洞化の危機等に直面し、日本全体が閉塞感に覆われた年でありました。

このような中、一日も早い復興を目指し、県民の皆様のご支援、ご協力のもと、被災地及び被災者への支援を行うとともに、日本の産業経済を支える愛知の責務として「愛知の元気なくして日本の復興なし」という決意をもって、中小企業支援を始めとする景気対策に全力で取り組んでまいりました。

新たな年には、こうした努力が実を結び、日本中に笑顔と元気を取り戻せるよう、さらなる取組を積み重ねていきたいと考えております。

このため、モノづくり産業の競争力強化に向け、航空宇宙、次世代自動車、新エネルギーといった新たな成長分野での産業振興や企業誘致に積極的に取り組むとともに、本年2月にオープンする「知の拠点」の「あいち産業科学技術総合センター」を活用し、県内企業の技術開発等を後押ししてまいります。

また、「あいちトリエンナーレ2013」や2014年の「国連ESDの10年最終年合」に向けた準備を着実に進めるとともに、叡智を結集して、2027年のリニア中央新幹線開業を視野に入れた都市づくり、地域づくりに力を入れて取り組んでまいります。

さらに、農林水産業の振興やふるさとづくりを進めるほか、県民の皆様の安心・安全を確保するため、東海・東南海・南海の3連動地震に備え、防災対策を充実し、地域防災計画や地震対策アクション

プラン等の見直しを進めるとともに、福祉、医療、健康等に関する施策を総合的に推進してまいります。

特に農業におきましては、意欲ある人が伸びる農業を実現するため、地域の多様な担い手を育成・確保するとともに、品質や生産性を高める新技術の開発、海外展開も含めた販路の開拓に積極的に取り組んでまいります

とりわけ、農業農村整備事業は安定した農業用水の確保、農地の生産性向上はもとより、台風や頻発するゲリラ豪雨、発生の確率の高まる大規模地震などの自然災害から県民の皆様のいのちと暮らしを守る大切な事業であります。

去年は愛知用水50周年ということもあり、私も積極的にPRさせていただきましたが、地域の人々が愛知用水に感謝し大切にされていることを肌で感じました。本県には、この他にも数多くの大規模農業水利施設や農業用排水機場などがあり、私達に恩恵や安心を提供してくれています。愛知の農業基盤を支える大切な施設を作っていただいた先人の偉業を讃え、これからもしっかりと未来に引き継いでいきたいと思っております。

本年4月からは、いよいよ「東三河県庁」がスタートいたします。今後の愛知県全体のさらなる飛躍に向けた大きな柱と位置づけ、東三河の特性を生かした地域づくりを進めてまいります。

これらの取組を通じて、世界に誇れる産業力、経済力、文化力、地域力をさらに高め、「世界と闘える愛知・名古屋」の実現を目指してまいりたいと考えておりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



## ごあいさつ

愛知県農林水産部農林基盤担当局長 溝田 大助

あけましておめでとうございます。

愛知県土地改良事業団体連合会におかれましては、神谷会長を中心に、県政の発展に多大な御支援をいただくとともに、本県の農業農村整備事業の推進に格別な御尽力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。

去年は東日本大震災や、本県を襲った台風12号・15号の凄まじい被害を目の当たりにして、自然をコントロールするという人間の努力の限界を再認識する年となりました。特に、東日本大震災では、福島第一原子力発電所が津波により大きな被害を受けました。このような状況の中、原子力発電の代替エネルギーとして再生可能エネルギーへの期待が高まっております。とりわけ本県では、古くから大規模な農業用水が数多く開削され、非常に高い小水力発電のポテンシャルを有しておりますことから、本年をさらなる飛躍の年とすべく小水力発電の導入に向けた取り組みを積極的に進めてまいりたいと考えております。

また、去年は愛知県を代表する大規模用水の一つである愛知用水が通水50周年を迎え、記念式典を始めとしたさまざまな記念事業が展開されました。中でもNHKの「さらさらサラダ」の中で放映された『歩実の愛知用水一直線』が高視聴率を記録したことは、啓発事業の重要性を改めて考えるきっかけとなりました。今後とも、このような啓発事業に力を入れてまいります。

さて、本県の農地や用排水施設ですが、

今後30年以内に87%もの確率で大規模地震が発生すると予測されている本県において、災害に備えつつ、さらに足腰の強い農業を目指していくためには、施設の耐震化や老朽化対策を積極的に進めるなど、農業農村整備事業を堅実かつ着実に展開していかなければなりません。

また、平成19年度より始まった農地・水・環境保全対策は今年で5年が経過し、農村地域の住民を中心とした活動組織の役割が定着し始めました。こうした自分たちの住む農村を共同で管理し、農村の持つ多面的機能を皆で享受する活動の展開は、農地や農業用水など貴重な地域資源を保全するとともに、活動を通じて人々の絆が強まり、ひいては地域防災力の強化にもつながるものと考えております。本事業は、平成28年度までの継続が決定しておりますので、引き続き農村の活性化に向け地域一体となって取り組んでいただきたいと存じます。

農業農村整備事業を取りまく情勢は依然として厳しい状況にありますが、貴連合会におかれましては、今後とも本県の農業農村整備事業の一層の推進に御尽力いただくとともに、これまで培われた知識や技術力を駆使して、さまざまな多面的機能を持つ農地、農業用水などの保全管理への御支援を賜りたいと存じます。

最後になりましたが、貴連合会のますますの御発展と会員各位の御健勝御多幸をお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

## 第2回理事会 開催

12月15日、第2回理事会を愛知県土地改良会館7階大会議室において開催した。始めに神谷金衛会長の挨拶、続いて、参与としてご臨席の県幹部の方々を代表し、溝田大助農林水産部農林基盤担当局長より挨拶をいただき、議事に入った。提出した下記議案は、いずれも原案どおり承認、可決された。

### 記

- 1 愛知県土地改良事業団体連合会職員の服務に関する規程の一部変更について
- 2 愛知県土地改良事業団体連合会職員の給与に関する規程の一部変更について
- 3 短期事業計画について
- 4 その他



理事会

## 叙 勲

平成23年度秋の栄えある叙勲受章者に、土地改良関係者から1名が選ばれた。

土地改良事業の促進、発展に懸命に努力して来られた方であり、このたびの栄えある受賞を心からお慶び申し上げます。益々ご壮健でご活躍されますようお祈りいたします。

ここに受賞されました佐屋町土地改良区の板谷政弘理事長をご紹介します。

### 旭日単光章



**板谷 政弘 氏**  
佐屋町土地改良区理事長

## 3.11東日本大震災復興支援 水土里の集い

～第34回全国土地改良大会 in みやぎ～

### 復興へ土地改良の底力を!!頑張ろう東北、頑張ろう日本



野中全国水土里ネット会長主催者挨拶

10月20日、「3.11東日本大震災復興支援 水土里の集い～第34回全国土地改良大会 in みやぎ～」が、宮城県仙台市・仙台国際センターにおいて、水土里ネットみやぎ、全国水土里ネットの主催及び農林水産省・宮城県・仙台市の後援により、大会テーマ「復興へ土地改良の底力を!!頑張ろう東北、頑張ろう日本」の下、全国の土地改良関係者約1,150名が参集し、盛大に開催された。

今回の集いは、3.11東日本大震災により未曾有の被害を被った東北をはじめ、東日本の地域水土里ネット及びその会員と、全国の水土里ネット関係者が情報と意識を共有し、早期の復旧・復興に向け一体となり取り組むとともに、防災対策を含めた今後の農業農村整備事業の更なる推進を確認する場となった。

オープニングセレモニーとして、奥州・仙台おもてなし集団「伊達武将隊」による歓迎の演舞が行われた後、式典に先立ち、大震災により亡くなられた方々に哀悼の意を表し黙祷を行った。

式典では、伊藤康志水土里ネットみやぎ会長による開催県挨拶の後、野中広務全国水土里ネット会長が「先人たちが幾多の災害をバネとし、知恵と労苦を結晶させ、現在まで継承してきたこの農業・農村を荒れ果てさせていくことは、決して我々にとって許されることではありません。農業・農村を巡る厳しい現状に立ち向かい、農林水産省をはじめとする関係機関の皆様としっかり連携し、土地改良の底力を遺憾なく発揮していかなければなりません。この会場の全ての皆様をお願いいたします。互いに手を取り合って農業・農村の将来に向けて、一步でも前進しようではありませんか。」と主催者挨拶、続いて岩本 司農林水産副大臣より来賓挨拶、村井嘉浩宮城県知事、奥山恵美子仙台市長より歓迎の言葉が述べられた。

この後、土地改良事業功労者表彰に移り、農林水産大臣表彰6名、農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰47名の受賞者に表彰状と記念品が授与された。**本会からは、農村振興局長表彰に**



農村振興局長表彰の  
市野水土里ネット西福田理事長



全土連会長表彰の  
山口水土里ネット幸田理事長

**本会理事、市野清一水土里ネット西福田理事長が、全国土地改良事業団体連合会長表彰に  
本会理事、山口文雄水土里ネット幸田理事長が表彰の栄に浴された。**



参加された役員の皆様方

この後、大会は、岩手県・福島県・茨城県水土里ネットより被災報告と復興への取組、宮城県水土里ネットより被災概要と復興基本計画、林田直樹農村振興局次長による基調報告に続いて、「東日本大震災の農地等の被災と今後の農業の復興について」と題し、水土里ネットみやぎの理事である加藤 徹宮城大学理事兼大学院食産業学研究科長による基調講演が行われ大会宣言へ移った。大会宣言では、水土里ネット名取の

伊藤秀利さん、小島ますみさんが、「我々水土里ネットは、今こそ壊滅的被災を受けた農地や土地改良施設の早期の復旧・復興に組織の総力を挙げて取り組むとともに、輝かしい未来に向けて、食料の安定供給、地域環境の保全等多面的機能の確保、エネルギー対策、そして今回の大震災を教訓とした防災対策の推進に、今こそ土地改良の底力を発揮して全力で取り組むことを、被災地東北・みやぎの地から宣言します。」と力強く訴えた。

最後に、千葉仁一水土里ネットみやぎ副会長の閉会の挨拶により大会は盛会裏に幕を閉じた。

翌日の21日には、大会において被災報告と復興への取組について発表された、三品水土里ネットわたり理事長の案内により管内の視察を行った。管内の亘理・山元両町の約90%のいちご農地や、管内11の排水機場全てが津波により被災し甚大な被害をうけ、その爪痕は今もはっきり残っており、目を被うばかりであった。こうした状況にもかかわらず、施設の早期復旧に全力で取り組まれ、仮復旧により、60%の機能が回復し、地域排水や二次災害の防止に努められている水土里ネットわたりの関係者のご努力に改めて敬意を表するとともに一日も早い復旧、復興を願わずにはいられなかった。



破壊された花笠第2排水機場



水土里ネットわたり事務所

# 平成24年度農業農村整備事業に関する 重点要請活動を実施



要請を行う神谷会長

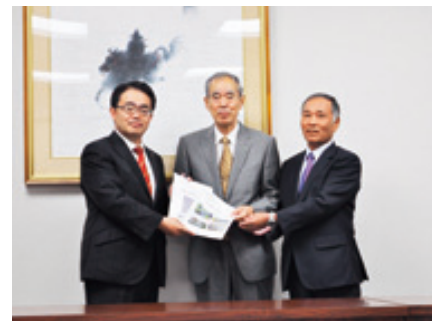
1月4日、神谷金衛会長、青木章雄専務理事、市野清一理事が、平成24年度農業農村整備事業に関する重点要請(提案9項目)活動を自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟(会長 三浦孝司)の県議会議員に実施、引き続き、議員連盟の先生方に立会していただき、大村秀章愛知県知事始め県執行部に実施した。その後、山本信介農林水産部農地計画課長に立会していただき、東海農政局長始め幹部に、重点要請(提案8項目)活動を実施した。



要請を受ける三浦自民党土地改良議員連盟



大村知事に要請書を手交



18日には、神谷会長、青木専務理事、市野理事、小久保三夫理事、白木実夫代表監事が、民主党(陳情要請対応本部、農林水産部門会議等関係)衆・参国会議員並びに農林水産大臣及び幹部、総務・財務・防衛各大臣、自由民主党愛知県選出参議院議員に対して平成24年度農業農村整備事業に関する重点要請(提案8項目)活動を実施し、愛知県から溝田大助農林水産部農林基盤担当局長始め幹部の方々が同行された。

なお、森本和義民主党農林水産部門会議農業農村整備 WT 事務局長(愛知15区選出)、松浦大悟民主党陳情要請対応本部副本部長、鈴木克昌民主党陳情要請対応本部筆頭副本部長(愛知14区選出)、大西健介衆議院議員(愛知13区選出)、岩本 司農林水産副大臣、森本哲生農林水産大臣政務官には、直接、要請書を手交した。



松浦民主党陳情要請対応本部  
副本部長に要請書を手交



鈴木民主党陳情要請対応本部  
筆頭副本部長に要請を実施



森本農林水産大臣政務官に  
要請書を手交

9項目並びに要請書の内容は次のとおりです。

### 〔要請書〕

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業農村整備事業予算は新政権のもと初めて編成された平成22年度において大幅に削減されたため、23年度で多少の回復を見せたものの21年度と比較すれば大幅に落ち込む極めて厳しい予算であることに変わりはありません。平成24年度の概算要求において若干の増額要求をしていただいておりますが、十分な予算とはとても言えません。このままでは国営事業、県営・団体営事業を問わず、継続地区は完了が大幅に遅延し、新規地区の採択は厳しく抑制されるものと大変危惧しています。

本年3月の東日本大震災の爪痕は、今もなお被災地域に残り、人々を苦しめております。特に、海拔ゼロメートル地帯は未だに海水が排水出来ておらず、復旧の糸口さえ掴めていない状況です。

愛知県は全国で一番広い海拔ゼロメートル地帯を有しており、この低平地に優良な農地が広がり、70万人を超える県民が生活しております。今後30年以内に大規模地震が発生する確率は87%とされる特殊な事情を抱える本県において、この度の教訓を踏まえれば、減災・免災のための農業用施設の耐震化・更新整備が喫緊の課題であります。こうした中、国においても震災対策農業水利施設整備事業という補助事業を創設していただくとともに国営総合農地防災事業矢作川総合第二期地区を概算要求していただいたことは、時宜にかなった適切な対応であると大変感謝しております。

今回、農地防災対策を中心とした重点要請を行いたいと思います。

経済の低迷により、財政状況は一段と厳しさを増しておりますが、国と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく必要がありますので、ご高配をお願いいたします。

### 〔9項目〕

- 1 農業農村整備事業予算の増額
- 2 農業用排水機場の更新整備、耐震対策の促進
- 3 戸別所得補償制度を支える生産基盤整備の事業制度の存続
- 4 農地・水保全管理支払交付金(共同活動支援交付金)の継続
- 5 国営総合農地防災事業矢作川総合第二期地区の早期実施
- 6 国営尾張西部地区で造成された排水機場の適切な機能保全
- 7 国営新濃尾総合防災事業の推進
- 8 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進

### 【自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟と愛知県への追加項目】

- 9 単県事業(土地改良)の拡充及び予算確保

## 農業用排水機県営移管期成同盟会の要請活動

4日には、農業用排水機県営移管期成同盟会(会長 服部金藏)も同時に、佐野幸雄飛鳥土地改良区理事長(副会長)、市野清一西福田土地改良区理事長(理事)が、自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟の県議会議員、大村愛知県知事始め県執行部に要請活動を実施した。



要請を行う佐野同盟会副会長

要請書は、次のとおりです。

### 〔要請書〕

### 排水機維持管理事業に関する要望

排水機維持管理事業の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業用排水機場は、農地のみならず住宅地や公共施設用地など地域全体の排水を担っており、その公共性の高さから農業用排水機県営移管期成同盟会は農業用排水機場の県管理を要望してきました。

これに対し愛知県は「直ちの全面的県営管理は不可能」とし、代替措置として排水機維持管理事業を創設したものであります。

しかし、排水機維持管理事業の県補助額については、財政状況を理由に年々縮減され、本来交付されるべき補助額に遠く及ばない状況が続いており、これ以上の縮減は排水機場の適正な維持管理が困難となることが危惧されます。

つきましては、何卒、実情をおくみ取りいただき、平成24年度排水機維持管理事業の予算確保に特段のお取り計らいをよろしくお願い申し上げます。

## 農政情報

### 農業農村整備対策予算について

(単位:億円)

事 項	H23 概算決定	H24 概算要求	対前年度比
◎農業農村整備事業	2,129	2,222	104.4%
◎農地・水保全管理支払交付金 うち向上活動支援交付金(長寿命化対策)	(211) 47	(251) 62	130.3%
◎戦略作物拡大・防災保全整備事業 (23年度は戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業)	220	270	122.7%
◎復興枠 ※1 〔 農業農村整備(449)、農山漁村交付金(2)、 農地・水(6)、戦略作物(20) 〕	—	477	皆増
計	2,397	3,031	126.5%

※1 農業農村整備には除塩を含まない。

※2 計数は四捨五入によっているので、端数においては合計とは一致しないものがある

# 農業農村整備事業(公共)

【222,226(212,939)百万円】

【上記のほか復旧・復興対策45,167百万円】

## 対策のポイント

「農地」と「水」を最大限に活用し、農業生産力の強化と、安心・安全な農村づくりを実現する。

## 〈主な内容〉

### 1. 農業水利施設等の防災・減災対策の強化

#### (1) 農業用排水施設等の耐震化対策の推進

大規模地震のおそれの高い地域における農業用排水施設に関して、災害の未然防止のための耐震化対策を実施する。

#### (2) 国営造成施設における迅速な応急対策等を通じた用水の安定供給の確保

国が造成した基幹的水利施設の突発事故等に対する二次被害の防止、軽減のための迅速な応急対策を実施するとともに、畑地かんがい用水を含めた農業用水の安定供給を確保する。

### 2. 担い手への農地集積を促す基盤づくりの推進

#### (1) 農地の大区画化・汎用化や農業水利施設の整備の推進

大規模経営体が大宗を占める構造の実現に資するため、土地利用型農業の経営規模拡大に不可欠な農地の大区画化・汎用化や農業水利施設の整備を推進する。

#### (2) 地域自ら行う基盤整備による農業の体質強化と安全な地域づくりの推進(関連施策)

既に区画が整備されている水田の畦畔除去等による区画拡大や老朽施設の補修等、営農上の個別課題にきめ細かく対応するとともに安全な地域づくりを推進する。

### 3. 新たな主体による「農地」・「水」のリスクマネジメントの推進(関連施策)

#### (1) 水路の長寿命化等高度な保全管理への取組の強化

地域コミュニティを活用した水路等の保全管理、長寿命化等の高度な取組を支援するとともに、広域で地域資源の保全管理を行うなどの多様な体制を整備する。

#### (2) 地域自ら行う基盤整備による農業の体質強化と安全な地域づくりの推進(再掲)

### 4. 小水力等再生可能エネルギーの導入促進(その他施策)

農村地域において、農業水利施設を活用した地域主導での小水力発電等の整備推進を行うため、民間団体等の専門的ノウハウを活用した施設整備を先導的に実施する。

### 5. 農業水利施設の震災対策【復旧・復興対策】

震災の教訓を踏まえ、今後発生しうる大規模地震や余震等により損壊のおそれのある農業水利施設の監修・整備等を実施する。

## 農地・水保全管理支払交付金

【25,146(21,159)百万円】

【上記のほか復旧・復興対策629百万円】

### 対策のポイント

- 共同活動への支援については、集落を支える体制の強化や仕組みの簡素化を図り、平成24年度～28年産までの対策として継続する。
- 広域で地域資源の保全管理を行うなどの多様な体制を整備しつつ、老朽化が進む水路等の長寿命化の取組や水質・土壌等の高度な保全活動を取組の内容に応じて、追加的に支援する。

### 〈主な内容〉

#### 1. 地域共同による農地・農業用水等の資源の基礎的な保全管理活動への支援

農地・農業用水等の資源について、活動組織や体制強化された組織が行う、水路の草刈り・泥上げ、農道の砂利補充などの「農地、水路等の資源の日常の管理」と、水質保全、生態系保全などの「農村環境の向上のための活動」を支援する。

#### 2. 施設の長寿命化のための活動や高度な農地・水の保全活動等への支援

農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新、水質や土壌等の高度な保全活動を行う集落を支援するとともに、広域での取組を強化する活動組織等を支援する。また、東日本大震災等の被災地における施設の復旧の取組を支援する。

#### 3. 農地・水保全管理支払の推進

農地・水保全管理支払の定着に向けて、現場における事業の推進や履行確認など、地方公共団体等による集落への支援体制を構築する。

## 戦略作物拡大・防災保全整備事業

【27,000(0)百万円】

【上記のほか復旧・復興対策1,969百万円】

### 対策のポイント

農地の畦畔除去、老朽施設の更新等のきめ細かな基盤整備を通じ、農業の体質強化と安全な地域づくりを推進する。

### 〈主な内容〉

#### 1. きめ細かな基盤整備による農業の体質強化と安全な地域づくり

戦略作物の生産や経営規模の拡大を図る経営体の農地の区画狭小、水利施設の老朽化等の個々の課題にきめ細かく対応し、併せて農地・農業水利施設が有する防災・減災機能を保全することで、農業の体質強化と安全な地域づくりを推進する。

#### 2. 整備済み農地の高度利用を迅速・安価に推進するための定額助成の導入

土地利用型農業の競争力を強化するためには、30a区画水田等の整備済み農地のストックを高度利用することが有効。このため、自力施工等による農地区画の拡大や暗渠管設置といった簡易な二次的整備を定額助成によって促進する。

(簡易な区画拡大：10万円／10a等、暗渠排水：15万円／10a)

# 小水力等農村地域資源利活用緊急促進事業

【932(0)百万円】

【上記のほか復旧・復興対策1,690百万円】

## 対策のポイント

農山漁村に賦存する未利用資源を最大限活用し、地域主導で再生可能エネルギーを供給する取組を推進する。

## 〈主な内容〉

### 1. 小水力等農村地域資源利活用緊急支援事業 320百万円 【上記のほか復旧・復興対策1,690百万円】

小水力等発電設備の導入に係る調査設計や協議調整、地域主導での再生可能エネルギー供給施設の整備の推進に向け、民間団体のノウハウを活用しつつ、ソフト事業とハード事業を一体的に行う先導的な取組への支援を行う。

〔補助率：定額、1/2以内、ほか委託費〕  
事業実施主体：地方公共団体、民間団体

### 2. 小水力等農業水利施設利活用実証支援事業 612百万円

小水力等の一層の利活用を促進するため、低コスト小水力発電施設の導入や地域資源地活用の組合せによる効率的な低炭素化にかかる実証等の取組への支援を行う。

〔補助率：定額、1/2以内、ほか委託費〕  
事業実施主体：地方公共団体、民間団体

【お問い合わせ先：農村振興局農村整備官(03-6744-2209(直))】

## 「土地改良における再生可能エネルギーの活用」説明会 開催



説明をされる佐藤昭郎氏

10月25日、さとう水と土政策研究所所長の佐藤昭郎氏による「土地改良における再生可能エネルギーの活用」説明会が、本会7階大会議室で開催され、東海農政局及び愛知県の職員並びに県内大規模水土里ネット(水土里ネット木津用水、宮田用水、海部、愛知用水、矢作川南部、矢作連合、豊田、豊川総合用水)の役職員29名が出席した。

佐藤氏から「太陽光発電」については、その特長や助成制度、再生可能エネルギー特措法案、事業の計画・設計・実施の流れと、「小水力発電」については、再生可能エネルギー特措法案により何が変わるか、また、全国可能性地点の再調査の必要性などが説明された。

本会は、今年度「小水力等農業水利施設利活用支援事業 愛知地区 小水力発電賦存量調査業務」に取り組んでいます。

# 研 修 会

## ■ 水土里ネット事業視察研修会 開催

11月27日～28日にかけて、農業農村整備事業の推進を図るため、市町村、水土里ネット役職員を対象とした事業視察研修会を開催した。

研修会には、60名が参加し、27日午前には、海部郡飛島村にある「国営土地改良事業 尾張西部地区 日光川河口排水機場」を視察し、海部農林水産事務所の青山排水対策課課長補佐から、午後からは、京都府亀岡市において「国営亀岡農地再編整備事業」を視察し、地区内を見渡せる場所で、近畿農政局淀川水系土地改良調査管理事務所亀岡農地整備事業建設所の塩崎換地係長と中西工区長から事業説明を受けた。29日には、福井県小浜市「県営経営体育成基盤整備事業 小浜東部地区」を視察し、廣畑水土里ネット小浜東部理事長と西岡小浜東部営農生産組合長から事業の立ち上げから現在に至るまでの説明を、また、水土里ネットが構成団体として活動している農地・水・環境保全向上対策の「松永川流域の環境を良くする会」の活動報告を受けた。

参加者は、それぞれの立場から熱心に視察され、地域での農業農村整備事業の推進の参考にさせていただいた。研修会終了後のアンケートには、「大変有意義な研修会であった。」と、ほとんどの方からの意見をもらい大変充実した研修会であった。



日光川河口排水機場



亀岡農地再編整備事業



小浜東部地区

## ■ 農業用排水機県営移管期成同盟会視察研修会 開催

9月27日～28日にかけて、富山県砺波市庄川町の水土里ネット庄川上流用水が管理する庄川地区示野発電所(県営かんがい排水事業)、富山県氷見市の水土里ネット氷見市が管理する氷見地区十二町瀉排水機場(国営かんがい排水事業)の視察研修会を開催した。

研修会には、同盟会役員・会員等62名が参加し、研修1日目の示野発電所では、水土里ネット庄川上流用水の城宝事務局長より発電所造成までの概要、特色、稼働状況等についての説明を受けた。

また、翌日は、十二町瀉排水機場を視察し、水土里ネット氷見市の瀬戸常務理事、守田業務課長より、水土里ネットの概要、排水機場の維持、運転状況等について説明を受け、大変有意義な研修会となった。



示野発電所



十二町瀉排水機場

**適正化事業加入団体现地研修会**を12月2日、土地改良施設の適切な維持管理と適正化事業の円滑な推進を図るため、岐阜県安八郡輪之内町福束排水機場（適正化事業）、同県揖斐郡揖斐川町の水土里ネット西濃用水連合（用水管理・適正化事業・国営事業）において開催した。参加者は、市町村・水土里ネット職員等59名。



福束排水機場

**排水機管理担当者現地視察研修会**を12月14日、三重県津市の安濃ダムと同県松阪市の除塵機・ゲート製作工場において開催した。参加者は、市町村・水土里ネット等の職員や運転管理者等71名。



安濃ダム取水設備

## 平成23年度農業農村整備事業啓発活動イベント “「水土里ネット」ってなんだろう？”開催

10月22日、午前10時から午後3時までの間、平成23年度農業農村整備事業啓発活動イベントとして、安城市JR安城駅南側商店街一帯において開催された「安城サンクスフェスティバル」に参加、会場となった中心市街地交流広場に、プロジェクト水土里（今年度は愛知県、愛知・豊川振興協会、水土里ネット明治用水、水土里ネット愛知で構成）は、

“「水土里ネット」ってなんだろう”のブース（テント4張）を構え、水土里ネットの役割や明治用水の水源を紹介したパネル、田んぼの生きものを展示し、800名余の来場者があった。展示を見てアンケートに回答してくれた子どもの来場者にはスーパーボールすくいを楽しんでもらった。



プロジェクト水土里ブース

当日は、会場の準備をしている間は、大雨で、開催も危ぶまれるほどの天候であったが、開会するころには雨もあがり、中心市街地交流広場は、終始大勢の人たちで賑わいを見せていた。



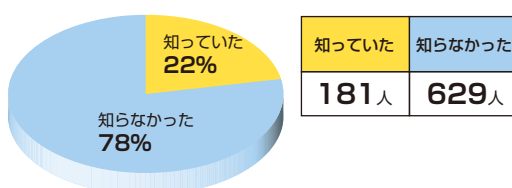
パネル展示



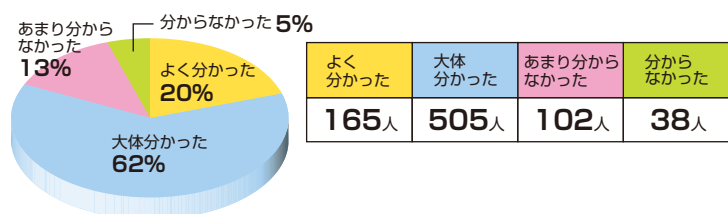
田んぼの生きもの展示

アンケート結果は、次のとおりです。

【水土里ネットを知っていましたか？】



【水土里ネットの役割が分かりましたか？】



# 「第10回あいちの農業・農村フォトコンテスト」 -大賞・優秀賞・入選作品決定-

本会主催、愛知県後援の「第10回あいちの農業・農村フォトコンテスト」の審査会を12月8日、愛知県土地改良会館7階大会議で開催した。県内各地から、今回のテーマ「水土里が育むあいちの農業・農村」を表現した作品366点(177人)の応募があった。

審査は、審査会規程第2条により実施され、9名の審査員による厳



審査会

正な審査の結果、

水土里のフォト大賞1点、優秀賞2点、豊かな農地あいち特別賞1点、農地・水保全管理活動特別賞2点、入選11点の17点が選考された。

なお、入賞・入選作品の展示を下記により実施しますのでお立ち寄りください。

## □水土里のフォト大賞「祈を込めて」

(撮影者・杉浦 幸美氏)作品は、表紙に掲載してあります。



「静寂」

水土里のフォト優秀賞  
撮影者・大原 重市氏



「初秋の水路」

水土里のフォト優秀賞  
撮影者・村井 勝利氏

## 【展示場所及び期間】

展示場所	展示期間(予定)
県庁本庁舎・西庁舎の地下連絡通路	平成24年2月 2日(木) PM~ 平成24年2月15日(水) AM
西三河県民生活プラザ (西三河総合庁舎1階)	平成24年2月20日(月) AM~ 平成24年3月 2日(金) AM
東三河県民生活プラザ (東三河総合庁舎1階)	平成24年3月 5日(月) AM~ 平成24年3月16日(金) AM
海部県民生活プラザ (海部総合庁舎1階)	平成24年3月21日(水) PM~ 平成24年3月30日(金) AM

# 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2011 -入賞・入選作品決定-

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2011に、全国から10,807点の応募があり、本県からは、約1割の1,086点(その内、団体応募は4団体で578点)の応募があった。この絵画展は、子どもたちに田んぼや農村に関心をもってもらい、田んぼ、水路やため池による水の循環や環境保全への理解をうながし、大人たちへのメッセージとして子どもたちのまなざしを届けることを目的として平成12年度から全国水土里ネットと都道府県水土里ネットが主催している。

厳正な審査の結果、入賞作品22点、入選作品105点、団体賞作品68点が決定した。本県からは、2点の入賞(全国地方新聞社連合会会長賞、不二家ファミリー文化研究所賞)と6点の入選、及び6点の団体賞が選考された。

入賞2点、入選6点作品は次のとおりです。

**入賞(全国地方新聞社連合会会長賞)**

「夏祭り」

**入賞(不二家ファミリー文化研究所賞)**

※「おいちちゃんとおばあちゃんの作った薄いただきま〜す。」

入選 ※「田んぼのかえる」

※「電柱と夜の田んぼ」

「みんながあつまる田んぼの中の大きな木」

「用水路ってメダカがいっぱい」

※「なすの馬流し」

※「夕日のかぶる田んぼ」

川口 結唯

一宮市立大和東小3年

澤田 萌花

豊田市立四郷小4年

加藤 れい

安城市よさみ保育園(年中)

亀山 翼

学校法人さくら学園第二慈恵幼稚園(年長)

宮平 爽名

椋山女学園大学附属小1年

清水 創生

高浜市立翼小3年

岡松 佳吾

豊田市立寿恵野小5年

土橋 八枝

豊田市立若園小5年

(敬称略)

※印は、団体応募から入賞・入選のあった作品です。



「夏祭り」



「おいちちゃんとおばあちゃんの作った薄いただきま〜す。」



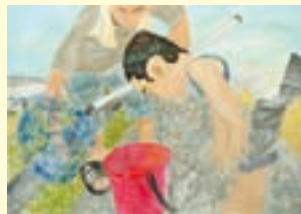
「田んぼのかえる」



「電柱と夜の田んぼ」



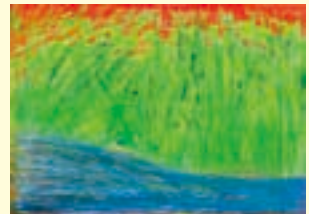
「みんながあつまる田んぼの中の大きな木」



「用水路ってメダカがいっぱい」



「なすの馬流し」



「夕日のかぶる田んぼ」

団体賞6点は、今年度も昨年度に引き続き、水土里ネット明治用水、水土里ネット豊田、水土里ネット南陽、水土里ネット油ヶ渕悪水が団体応募に参画され、水土里ネット明治用水理事長賞1点、水土里ネット豊田理事長賞他3賞の計4点、茶屋新田地域資源保全隊賞1点、油ヶ渕悪水理事長賞1点を選考していただいた。

● 団体応募は、すべての水土里ネットが参画できますので平成24年度に向けてご検討いただければ幸いです。詳細は、総務部企画広報課(TEL 052-551-3613)まで問い合わせください。

## 会員情報

### 活動情報

#### 【水土里ネット南陽】

10月8日、田んぼアート稲刈りとコスモまつりが、水土里ネット南陽地域において開催された。主催は、「茶屋新田地域資源保全隊」と「茶屋新田田んぼアート実行委員会」で、水土里ネットは、その両方に、委員、構成員として活動している。



田んぼアート稲刈りは、5月15日に田植えに参加した親子連れが参加、コスモまつ

りには、稲刈りに参加した親子連れや、地域住民が参加、コスモスまつりの会場には、今年度新たに作成した「農業用水を守り、農村環境を守る水土里ネットのパネル」を展示し、「限られた農地を守り、次世代に引き継ぐ」をテーマに活動している水土里ネットのPRを行った。

## 【水土里ネット愛知用水】

「愛知用水」は、9月30日に通水50周年を迎えました。

9月23日、愛知用水が地域にもたらした恩恵や水の大切さを再認識し、水の恵みと感謝の気持ちを次の世代へと引き継いでいくことを目的として、愛知県産業労働センター（ウインクあいち）において、愛知用水通水50周年記念式典実行委員会（愛知県、岐阜県、愛知水利水者連絡協議会、関西電力株式会社、財団法人愛知・豊川用水振興協会）が、「愛知用水通水50周年記念式典」を開催した。



大村知事主催者挨拶

記念式典には地域の小学生、農家を始め、用水建設に関わった人たちや行政関係者、水土里ネットなど約800人が参加し、式典の実行委員長を務める大村秀章愛知県知事は「愛知用水はこの地域の豊かな暮らしと産業、経済の発展を支える重要な基盤。未来を担う子供達が愛知用水の歴史や重要性を十分に理解し、水の恵みに対する感謝の気持ちをしっかりと引き継いでいきたい。」と挨拶した。

**10月8日**、大府市にあるJAあぐりタウンげんきの郷において、水源地域へ感謝し、広く一般の方々に愛知用水と水源の森について知ってもらいために、「受益地域と水源地域との交流イベント～愛知用水と水源の森～」を開催した。



どんぐりの棒パン焼き

イベントは、午前10時から午後3時まで開催し、大人も子どもも楽しめる出前授業、愛知用水と水源の森をPRするパネル展、水源の森のどんぐりを使った生地で棒パン焼きや間伐材、どんぐりなどに好きな絵を描く工作教室、水源地「王滝村・木曾町」の情報発信を行った。

## 【水土里ネット明治用水】

**10月15日**、以前のようなふるさとの美しい川や海を取り戻し、次の子どもへと受け継いでいくことを目的に、地域住民・自治体・国が一体となって、矢作川の水源確保と水質保全の一活動



清掃活動



収集されたゴミなど

として国土交通省主催の「川と海のクリーン大作戦」を東海農政局と共に実施した。

当水土里ネットは、「水を使う者は自ら水をつくれ」「流域は一つ運命共同体」の精神を今後も後世に引き継いでいかねばなりません。当日は、95名が明治用水会館に集合し水源管理所へ移動、直接水源管理所に集合した100名と合わせ195名の参加があり、清掃活動を実施、参加者には、米粉パンとシチューをふるまった。

## 【水土里ネット牟呂用水】

10月29日、第8回水土里ウォークイン「牟呂用水」を、農業用水だけでなく水道用水にも活用されている牟呂用水を通じて、農業や社会に関わる水の大切さ、牟呂用水美化への意識向上と水土里ネットについて知ってもらおうと開催したところ親子連れ93名の参加があった。

コースは、豊橋市の「豊橋浄水場」で水道用水の施設紹介を行い、その後、「森岡取水場」から幹線水路沿いをウォークし、水路内ウォークの始点となる「浪ノ上排水樋管」に向かい、その後、「朝倉川排水樋管」までの約3kmの水路内ウォーキングを実施、普段は歩けない水路の中を実際に歩いてもらい、別の角度で用水を感じてもらったり、牟呂用水美化への取組としてゴミ袋を持って530(ゴミゼロ)運動をしながらのウォーキングをしてもらい、美化意識の向上も図られた。

「近くに住みながら入れなかった所に入れてよかった。」「楽しくて歩く距離が短く感じた。」などの声を聞くことができ、参加者には楽しく有意義な一日を過ごしていただけた。



豊橋浄水場



水路内ウォーク

## 【水土里ネット鍋田】

11月28日、水土里ネットが管理する鍋田南部2期地区排水機場と鍋田南部排水機場において、「排水学習会・排水機場見学会」が開催された。

この「学習会・見学会」は、海部農林水産事務所が、農業農村整備事業啓発活動の一環として、小学校の社会科授業の地域学習と連携し行ったものである。

午前には、水土里ネット鍋田地域の弥富市立大藤小学校4年生30人、午後からは、栄南小学校4年生28人の児童が参加、久野容一建設課長始め建設課の職員から「海部地域の排水や、排水機場」について説明を受けるとともに、現在建設中の鍋田南部排水機場では、工事概要の説明を受け工事現場の見学、また、鍋田南部2期地区排水機場では、実際に水土里ネットの職員がポンプの運転を行った。

児童たちは、排水機場内に鳴り響く排水機の運転音を体感、排水される水の流れを観察しながら大変驚いた様子であった。この排水機場の「学習会・見学会」を通して、「水土里ネットの役割」や、「海部地域がポンプで強制排水をしなければ、どうなってしまうか。」を、将来を担う子どもたちに知ってもらうことができた。



排水機場内見学



強制排水運転

水土里ネットや市町村の様々な活動を掲載するコーナーです。多数の情報をお待ちしております。  
総務部企画広報課TEL052-551-3613

## 水土里情報システム

### ◆ 水土里情報システムの利活用から業務の効率化とコスト縮減

水土里情報システムは、農業施策等に特化したシステムであるため、農業関係機関団体で活用する事で業務の効率化とコスト縮減となります。

#### 事例1 農地・水保全管理支払交付金

##### ・活動区域の管理

交付金の対象は、活動する対象区域の農振農用地区域の農用地であります。

対象農用地が農振農用地、一時転用、耕作放棄地について、管理は市町村が実施する事になります。

##### ・次期対策の実施

活動組織と市町村は、新たに協定を締結して、実施する事になります。

活動計画書を作成するにあたり、水土里情報システムを活用する事により、効率化とコストの縮減となり、また、今後の管理に役立ちます。

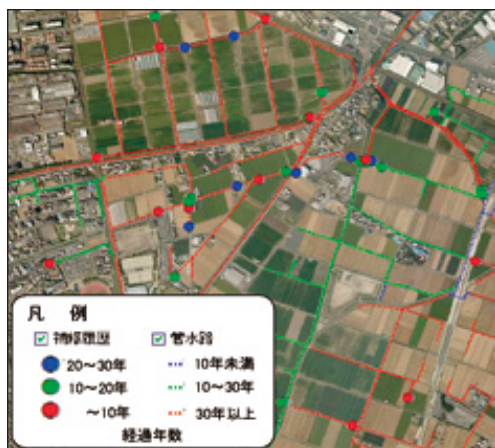
#### 事例2 土地改良施設の管理について

・土地改良施設は、設置後、補修等の管理が必要となり、いつかは改修をする事になります。そこで、日常の補修等の状況をデータベース化することによって、更新計画等を適確に実施する事が可能となります。

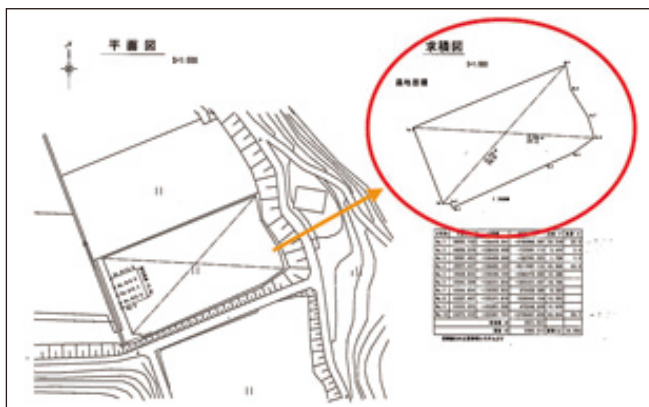
#### 事例3 災害時の対応

・災害が発生した場合、初動対応並びに復旧を実施する事になります。そこで、現地調査並びに査定設計書等の活用が可能となりました。

事例2 施設の整備年度と補修年度



事例3 査定設計書の求積



## 水土総合強化推進事業

### ◆ 平成23年度技術力向上事業 技術実践研修

本研修は、農業農村整備事業の円滑な実施を図るため、市町村職員及び水土里ネットの役職員の技術力向上を図るべく、水土総合強化推進事業の一環として実施するもので、6月16日、東海農政局長より事業実施通知書をいただき、10月31日から11月2日までの3日間、本会が主催で開催し、延べ62名が参加した。

10月31日と11月1日は、愛知県土地改良会館7階大会議室において、11月2日は、一宮市、安城市、豊田市の現地において、平成23年度技術力向上事業 技術実践研修を開催した。



青木専務理事開会挨拶

研修の開会にあたり、青木章雄水土里ネット愛知専務理事が「先日発表された概算要求の大枠は、基本的には対前年度比90%、残りの10%は15%まで要求できるため、どの省庁も大枠がほぼ105%の要求になっている。農林水産省は90%部分がほぼ95%位にセットされ、残り15%部分が10%程度で、その部分が全部カットされても95%位にはなるという旨い要求をいただいている。ただ、平成23年度が22年度に比べ若干アップした

ものの、22年度予算が21年度から交付金を含めても半分くらいにしかありませんでした。原点がそこにおかれているため、予算が多少アップになったとしても21年度予算と比べると半分程度という恰好です。このような状況を受け、本会は7月11日に政府、各関係省庁に要請活動を実施しました。また、この11月にも、中・下旬になりますが重ねて2回目の要請活動を実施する予定です。現在、TPPなど、外部からの農業情勢が非常に厳しい状況ですが、生産基盤事業になるのが土地改良事業、農業農村整備事業です。その事業を着実に進めていくには、ひとつひとつの技術力向上に日ごろから技術の研鑽を励まないとはいけません。」と主催者挨拶を行った。引き続きご臨席の土方英二農林基盤担当局農地整備課長から「9月末に公表されました農林水産省の概算要求の中で、本県が強く要望しておりました農地防災事業の新しい補助制度、補助金化ということで、額は少ないですが一括交付金以外に、補助金で防災ダムなどができる制度を計上していただきました。これも市町村や土地改良区の皆様の地道な活動が実を結んだものと考えております。今回の研修は、幅広いカリキュラムが用意され、非常に有意義な研修になるかと思えます。この機会に様々な情報を吸収して日常の業務に生かしていただきますようお願いいたします。」と挨拶をいただいた。



新濃尾地区研修



新矢作川用水地区研修

講師には、東海農政局、愛知県から、下記カリキュラムにあるように当該事業を直接担当されている方々をお招きし、具体的に指導いただいた。研修には、県内各地から農業農村事業に携わる市町村・水土里ネットなどの役職員58名が受講し、有意義な研修となった。

本研修の開催に際して行ったアンケートでは、全体的に、受講前に比べ受講後の知識レベルの自己評価がアップしており、また、「全般的な内容であり基礎的な知識として活用できると思う。」「施設の維持管理について機能保全計画を作る必要性を感じた。」「会計検査に対する準備を再認識することができた。」などの感想をいただいた。

来年度も、本会は、東海農政局に承認申請を行い、技術実践研修を開催する計画です。

月 日	研 修 科 目	講 師	(敬称略)
10月31日	農業農村整備事業を取り巻く最新の動向の施策	東海農政局整備部設計課 農業土木専門官 持山 昌智	
	農業農村整備事業制度関係		
11月 1日	ストックマネジメント	東海農政局整備部水利整備課 課長補佐(調製) 林 静二	
	愛知県のストックマネジメントの事例 (農業水利施設保全対策事業)	愛知県農林水産部農林基盤担当局 農地整備課主査 三浦 晋	
	施工管理関係	東海農政局土地改良技術事務所 専門技術指導官 鈴木 和成	
	施工にかかわる会計検査の度動向	東海農政局整備部設計課 工事検査官 藤井 敬一	
11月 2日	現地研修 国営農地防災事業 新濃尾地区	東海農政局 新濃尾農地防災事業所	
	現地研修 国営かんがい排水事業 新矢作川用水地区	東海農政局 新矢作川用水事業事業所	

### ◆ 換地関係異議紛争処理対策検討会

全国水土里ネット主催による同検討会が、11月7日、水土里ネットみえ会議室において開催され、農林水産省、東海農政局、3県・3県土連から25名が出席した。

- (協議事項) 換地を取り巻く状況について  
換地関係異議紛争事例検討  
岐阜県：事前換地による換地選定調整によって異議紛争が未然に防止できた事例  
愛知県：日本測地系から世界測地系の移行によって起きた面積減に伴う調整について  
三重県：評価基準額の変更と不換地内諾書の撤回について

### ◆ 日本政策金融公庫農業基盤整備資金の金利改定

日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利が、下記のとおり改定された。

	9月20日	10月20日	12月19日
県営補助残	1.55%	→ 1.45%	→ 1.55%
団体営補助残	1.40%	→ 1.30%	→ 1.40%
団体営非補助	1.40%	→ 1.30%	→ 1.40%
災害復旧 5年以内	0.60%	→ 0.55%	→ 0.60%
10年	0.85%	→ 0.75%	→ 0.85%
15年	1.25%	→ 1.15%	→ 1.25%
20年	1.40%	→ 1.30%	→ 1.40%

詳細については、名古屋支店農林水産業農業食品第二課(TEL052-582-0745)にお問い合わせください。

## ●農林水産省の組織再編

～大臣官房「検査部」が土地改良区検査を担当～

9月1日付けで、農林水産省の本省及び地方農政局において、組織の再編が行われた。

主な再編では、これまでの土地改良区等の検査が、農村振興局整備部土地改良企画課から大臣官房に新設された「検査部」の検査課が担当、地方農政局においては、農村計画部土地改良管理課から総務部検査課が農業協同組合に加え、卸売市場、商品取引、土地改良区等の検査を担当する。

## ●平成23年度水土里ネット役員研修会開催

**日時** 平成24年1月13日(金)10時30分～

**場所** 愛知県土地改良会館 7階大会議室

**研修内容**

- 1 水土里ネットの検査結果の概要
- 2 水土里ネットにおける男女共同参画
- 3 水土里ネットの監事による監査実務
- 4 水土里ネットの会計細則の改正
- 5 我が国の農業農村整備をめぐる動き

- 講師：愛知県農地計画課主任主査  
講師：東海農政局経営支援課長  
講師：東海農政局土地改良管理課長  
講師：東海農政局土地改良管理課  
土地改良指導官  
講師：(前)農林水産省農村振興局次長

- (敬称略)  
鈴木照夫  
土屋博  
山田義信  
田中卓也  
齋藤晴美

■12月6日付で通知しました開催日を変更して9日付で開催日を1月13日に変更させていただいておりますのでご注意ください。

## 水土里ネット愛知 ホームページのリニューアル ～会員業務支援コーナーを新設～

<http://www.aichi-doren.or.jp>

- 10月1日、本会のホームページをリニューアルしました。
- 水土里情報システムや土地改良施設維持管理適正化事業関連などが、ホームページを活用していただけるようになりました。
- 今後も会員の皆様のお声を反映させていただき、ご使用いただきやすいホームページにしていまいりますのでお気軽にご連絡ください。



農地・水保全管理支払県内9地域協議会ホームページも開設しておりますのでご利用ください。

- 尾張農地・水・環境保全地域協議会  
<http://www.owari-nochi-mizu.org>
- 一宮農地・水・環境保全地域協議会  
<http://www.ichinomiya-nochi-mizu.org>
- 海部地域協議会  
<http://www.ama-nochi-mizu.org>
- 農地・水・環境保全知多地域協議会  
<http://www.chita-nochi-mizu.org>
- 西三河農地・水・環境保全地域協議会  
<http://www.nishimikawa-nochi-mizu.org>
- 西尾幡豆農地・水・環境保全地域協議会  
<http://www.nishiohazu-nochi-mizu.org>
- 豊田加茂農地・水・環境保全地域協議会  
<http://www.toyotakamo-nochi-mizu.org>
- 新城設楽地域農地・水・環境保全協議会  
<http://www.shinshiroshitara-nochi-mizu.org>
- 東三河農地・水・環境保全地域協議会  
<http://www.higashimikawa-nochi-mizu.org>

